

夏の交通安全防止運動

7月22日(金)～31日(日)

飲酒・疲労運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です。

運転者は、「飲んだら乗らない 乗るなら飲まない」ことを徹底し、周囲の人も、「飲んだ人に車を貸さない、乗る人に飲ませない、飲んだ人に車を運転させない」ことを徹底しましょう。

疲労運転は危険です。

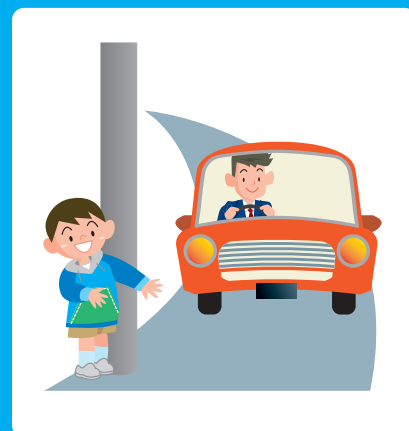
旅行や帰省等で長距離運転をする際は、余裕ある運転計画を立てるとともに、こまめに休憩をとりましょう。



安全速度の励行

安全速度とは

安全速度とは道路の状況、天候や視界などの条件に応じて、交通事故を防止する観点から、安全に走行するための速度をいいます。したがって標識などで定められた制限速度と安全速度は同じではありません。交通状況をしっかり判断して、見えている危険だけでなく、隠れている危険も予測し、交通事故の回避が可能な速度(安全速度)を保つ運転を心がけましょう。



シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

シートベルトやチャイルドシートを着用していれば、多くの命が助かっていたかもしれません。

平成27年中の県内の自動車乗用中の死者は35人でしたが、そのうちシートベルトを着用していなかった人は24人でした。

シートベルトやチャイルドシートは、万が一の交通事故のとき、運転者や同乗者を守る「大切な命綱」です。全ての座席でのシートベルトの着用と、子供の成長に応じたチャイルドシートの使用を徹底しましょう。

シートベルトの非着用者の致死率は、着用者の約2.9倍です。

